



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フェローテック

コード番号 6890 URL <https://www.ferrotec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 賀 賢漢

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山村 丈 TEL 03-3281-8186

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	68,899	12.7	6,672	△4.9	5,864	△28.6	2,674	△44.8
2025年3月期第1四半期	61,110	16.9	7,015	△1.4	8,217	7.7	4,849	11.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △13,083百万円 (-%) 2025年3月期第1四半期 20,567百万円 (98.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	57.13	49.87
2025年3月期第1四半期	103.16	90.75

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	580,964	306,706	38.4	4,769.07
2025年3月期	600,593	323,549	39.4	5,058.27

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 223,314百万円 2025年3月期 236,831百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	55.00	-	86.00	141.00
2026年3月期	-	-	-	-	-
2026年3月期（予想）	-	74.00	-	74.00	148.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	135,000	△0.1	13,000	△8.8	12,000	△22.4	7,000	△23.8	149.51
通期	285,000	3.9	28,000	16.2	26,000	1.7	16,000	2.0	341.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	47,117,949株	2025年3月期	47,117,949株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	292,427株	2025年3月期	297,422株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	46,822,246株	2025年3月期1Q	47,014,376株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象の注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における経営環境については、米国景気は比較的堅調ながら、新政権の掲げる関税政策影響により個人消費に支出抑制の動きが見られます。欧州景気は個人消費が堅調ながら、ドイツを中心とした製造業の不振が景気全体を押し下げております。日本では個人消費は比較的底堅いものの設備投資や輸出などが伸び悩んでおります。中国は政府の景気対策により個人消費や自動車販売などが伸びておりますが、住宅市況などは依然厳しい状況が続いています。

為替相場は、対米ドルレートは年初以降円高方向に進んだのち、じりじりと円安方向に戻っております。

当社グループの属するエレクトロニクス産業は、半導体に関する米中摩擦や日本、アジア諸国を含む米国関税政策に伴う不透明感が半導体需要及び半導体製造装置の需要にも影を落としております。ただ、中国国内の半導体需要は政府の支援が継続され相対的に堅調な状況です。一方、パワー半導体市場は昨年からの調整局面となっているのに加え、主要用途であるEV（電気自動車）需要もやや軟化しております。加えて、太陽光パネル業界は低迷が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの半導体等装置関連事業では、中国外調達を拡大する欧米顧客の対応を進めるとともに、中国国内需要の取り込みにも努めてまいりました。中国外では製造装置向けの真空部品や金属受託加工やセラミックス製品、中国国内では部品洗浄事業が良好に推移しました。

電子デバイス等の事業では、サーモモジュールが生成AIサーバー投資成長の恩恵を受け増加、パワー半導体用基板も販売を伸ばしております。

営業利益は、減価償却費や販売費及び一般管理費の増加などにより、前年同期比で減少しました。経常利益は中国の設備投資補助金収入が減少、為替差損の発生もあり前年同期比で大きく減少しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は68,899百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益は6,672百万円（前年同期比4.9%減）、経常利益は5,864百万円（前年同期比28.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,674百万円（前年同期比44.8%減）となりました。

なお、当社は2025年7月1日付で、当社の100%子会社である株式会社フェローテックマテリアルテクノロジーズを吸収合併し、株式会社フェローテックホールディングスから株式会社フェローテックへ商号変更しております。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### (半導体等装置関連事業)

当該事業の主な製品は、真空シール及び各種製造装置向け金属加工製品、石英製品、セラミックス製品、CVD-SiC製品、シリコンパーツ、装置部品洗浄、石英坩堝などです。

真空シール及び各種製造装置向け金属加工製品は、米国メーカー及び中国メーカーの需要が堅調であり前年同期比で売上を伸ばしました。半導体製造プロセスに使用されるマテリアル製品については、セラミックス製品の販売が堅調でした。部品洗浄サービスも、中国の半導体及びFPD工場の稼働率に連動し順調に売上を伸ばしております。一方、石英坩堝については、太陽光パネル製造メーカー向け需要の減退を受けて前期同期比で減収となり、セグメント利益面にも影響しています。また、減価償却費をはじめとする新工場の立上げ費用負担増も利益に影響を与えております。

この結果、当該事業の売上高は41,369百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は3,108百万円（前年同期比31.5%減）となりました。

#### (電子デバイス事業)

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、パワー半導体用基板、磁性流体、センサです。

サーモモジュールは、光トランシーバー向けマイクロモジュールの出荷が引き続き好調で部門全体の収益の伸びをけん引し、パワー半導体用基板も売上を伸ばしました。また、センサの収益は前年度の株式会社大泉製作所の決算期変更影響で第1四半期の収益計上がなかったのに対し、今期は収益計上しているため純増となっております。

この結果、当該事業の売上高は13,874百万円（前年同期比39.4%増）、営業利益は2,665百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

(車載関連事業)

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、パワー半導体用基板、センサです。

パワー半導体用基板は、AMB基板の販売増もあり順調に売上を伸ばし、利益面でも貢献しております。サーモモジュールは、EV車向けの車内冷蔵庫やカップホルダーの売上を伸ばしました。センサは電子デバイス事業同様、前年度の株式会社大泉製作所の決算期変更影響で今期は収益計上しているため純増となっております。

この結果、当該事業の売上高は8,965百万円(前年同期比53.5%増)、営業利益は1,308百万円(前年同期比79.2%増)となりました。

(その他)

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、工作機械、太陽電池用シリコン製品等の事業を含んでおります。

太陽電池用シリコン製品の出荷が減少し、部門全体では減収となりましたが、工作機械、産業用洗濯機は売上を伸ばしております。

当該事業の売上高は4,690百万円(前年同期比13.0%減)、営業利益は31百万円(前年同期は営業損失101百万円)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

<資産>

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ19,628百万円減少し、580,964百万円となりました。これは主に現金及び預金14,643百万円、有形固定資産5,843百万円の減少によるものであります。

<負債>

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ2,785百万円減少し、274,258百万円となりました。これは主に長期借入金(1年内返済予定を含む)18,085百万円が増加したものの、支払手形及び買掛金5,869百万円、短期借入金10,997百万円、賞与引当金1,243百万円の減少によるものであります。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ16,843百万円減少し、306,706百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定12,916百万円、非支配株主持分3,325百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	117,727	103,083
受取手形、売掛金及び契約資産	92,608	90,677
商品及び製品	21,197	21,941
仕掛品	17,269	17,564
原材料及び貯蔵品	33,611	34,722
その他	13,785	15,177
貸倒引当金	△832	△681
流動資産合計	295,367	282,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,505	84,882
機械装置及び運搬具(純額)	87,549	83,474
工具、器具及び備品(純額)	8,637	8,302
土地	4,669	4,668
リース資産(純額)	14,852	13,900
建設仮勘定	38,850	43,993
有形固定資産合計	245,064	239,220
無形固定資産		
のれん	1,861	1,815
その他	4,304	4,055
無形固定資産合計	6,166	5,871
投資その他の資産		
関係会社株式	29,422	27,165
その他	24,926	26,556
貸倒引当金	△352	△336
投資その他の資産合計	53,996	53,386
固定資産合計	305,226	298,478
資産合計	600,593	580,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,394	49,525
電子記録債務	4,197	3,354
短期借入金	34,482	23,485
1年内償還予定の社債	320	320
1年内返済予定の長期借入金	24,272	28,541
未払法人税等	2,518	1,822
賞与引当金	4,813	3,570
その他	25,750	25,008
流動負債合計	151,750	135,628
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	25,000	25,000
長期借入金	78,222	92,039
退職給付に係る負債	1,307	1,352
資産除去債務	422	418
その他	20,339	19,818
固定負債合計	125,292	138,629
負債合計	277,043	274,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,549	29,549
資本剰余金	69,197	69,474
利益剰余金	90,435	89,084
自己株式	△587	△577
株主資本合計	188,595	187,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	936	1,514
為替換算調整勘定	46,859	33,942
退職給付に係る調整累計額	439	325
その他の包括利益累計額合計	48,235	35,783
非支配株主持分	86,718	83,392
純資産合計	323,549	306,706
負債純資産合計	600,593	580,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	61,110	68,899
売上原価	42,831	49,454
売上総利益	18,278	19,445
販売費及び一般管理費	11,263	12,772
営業利益	7,015	6,672
営業外収益		
受取利息	503	509
補助金収入	1,517	1,305
為替差益	690	—
その他	208	334
営業外収益合計	2,919	2,149
営業外費用		
支払利息	545	818
持分法による投資損失	1,092	1,088
為替差損	—	861
その他	79	189
営業外費用合計	1,717	2,957
経常利益	8,217	5,864
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
持分変動利益	2	—
特別利益合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	8,221	5,864
法人税等	1,871	2,224
四半期純利益	6,349	3,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,499	964
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,849	2,674

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	6,349	3,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△341	571
為替換算調整勘定	13,014	△15,591
退職給付に係る調整額	4	△114
持分法適用会社に対する持分相当額	1,541	△1,588
その他の包括利益合計	14,217	△16,723
四半期包括利益	20,567	△13,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,864	△9,777
非支配株主に係る四半期包括利益	4,703	△3,305

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	5,072百万円	6,529百万円
のれんの償却額	10	46

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	半導体等 装置関連事業	電子デバ イス事業	車載関連 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	39,926	9,951	5,841	55,718	5,391	61,110	—	61,110
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	39,926	9,951	5,841	55,718	5,391	61,110	—	61,110
セグメント利益 又は損失(△)	4,538	1,930	730	7,198	△101	7,097	△82	7,015

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、工作機械、太陽電池用シリコン製品等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△82百万円には、セグメント間取引の消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用85百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	半導体等 装置関連事業	電子デバ イス事業	車載関連 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	41,369	13,874	8,965	64,209	4,690	68,899	—	68,899
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	41,369	13,874	8,965	64,209	4,690	68,899	—	68,899
セグメント利益	3,108	2,665	1,308	7,082	31	7,114	△441	6,672

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、工作機械、太陽電池用シリコン製品等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△441百万円には、セグメント間取引の消去88百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用352百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象の注記)

(共通支配下の取引等)

当社は、2024年11月25日開催の取締役会において、当社の連結子会社である半導体製造装置等の部品洗浄を行う安徽富樂徳科技發展股份有限公司（以下「FTSVA」という。）が、当社の連結子会社であるパワー半導体用基板の製造・販売を行う江蘇富樂華半導体科技股份有限公司（以下「FLH」という。）の全株式を新株式の発行及び転換社債の発行により取得することについて、同意・承認しておりましたが、2025年6月27日に中国証券監督管理委員会より当該取引に関する承認通知を受けました。その後、2025年7月8日に転換社債の発行、2025年7月25日に新株式の発行を実施しました。

なお、これらの取引により、FLHはFTSVAの完全子会社となり、当社グループのFLHに対する議決権比率は55.1%から54.3%となりました。また、当社グループのFTSVAに対する議決権比率は49.9%から54.3%となりました。